事業箇所総合評価シート

【担当課：平城宮跡事業推進室】

事業名	飛鳥・藤原地域魅力向上事業	路線名等	飛鳥京跡苑池
箇所名	明日香村岡　他		

事業の概要	目　的	史跡及び名勝「飛鳥京跡苑池」と周辺区域も含めて、発掘調査の結果に基づいた整備を行い、来訪者に飛鳥京跡苑池を理解いただくとともに、来訪者と地域住民の交流の場として活用し、地域活性化の拠点となることを目指す。				
	事業内容	指定面積：27,413m2 事業内容：史跡整備 文化財指定の種別：史跡及び名勝				
	着手年度	平成25年度	完成予定年度	平成33年度	全体事業費	660百万円

定性的評価	事業の必要性	【必要性】 ①飛鳥時代の政治、文化、庭園の発展を知る上で重要な遺跡として、平成15年に国の史跡・名勝に指定されており、芸術性・観賞性に資する整備が求められる。 ②我が国のはじまりを担った古代の都である飛鳥京を構成する史跡・名勝「飛鳥京跡苑池」については、史跡の確実な保存・整備を行うことにより、明日香地域の観光交流の拡大と地域の活性化を図る必要がある。 ③また、苑池は、世界遺産への登録を目指している「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産候補にもなっているため、重点的な整備が必要である。 【緊急性】 ①平成28年度の開園を目指している国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の整備にあわせて進めることで、飛鳥地域のより一層の魅力向上につながるので、早急な整備が求められる。 ②史跡・名勝として指定されたことにより、既に指定地内の用地買収をほぼ完了しており、復元整備に必要となる発掘調査も進めていることから、早期の工事着手が求められる。
	上位計画等	・第4次明日香村整備計画（H22.7） ・明日香における歴史展示実施計画（H23.3） ・史跡及び名勝飛鳥京跡苑池保存整備基本構想（H23.12）
	事業の有効性（事業により予想される効果及び影響）	【費用対便益】 B／C＝
		【便益に計上されていない効果】 ・明日香村における新たな魅力の創出 ・交流機会の増大 ・明日香及び中南和地域の活性化
	コスト縮減への取組み	利便施設等におけるプレキャスト製品の利用
	地元情勢等	奈良県町村会、奈良県町村議会議長会からの早期整備の要望（H24）
	他計画他事業との関連	国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区が平成28年度開園予定

評価結果	左　の　理　由
採択	第4次明日香村整備計画等に基づく事業であり、緊急性も認められるため採択する

■飛鳥京跡苑池の地区区分

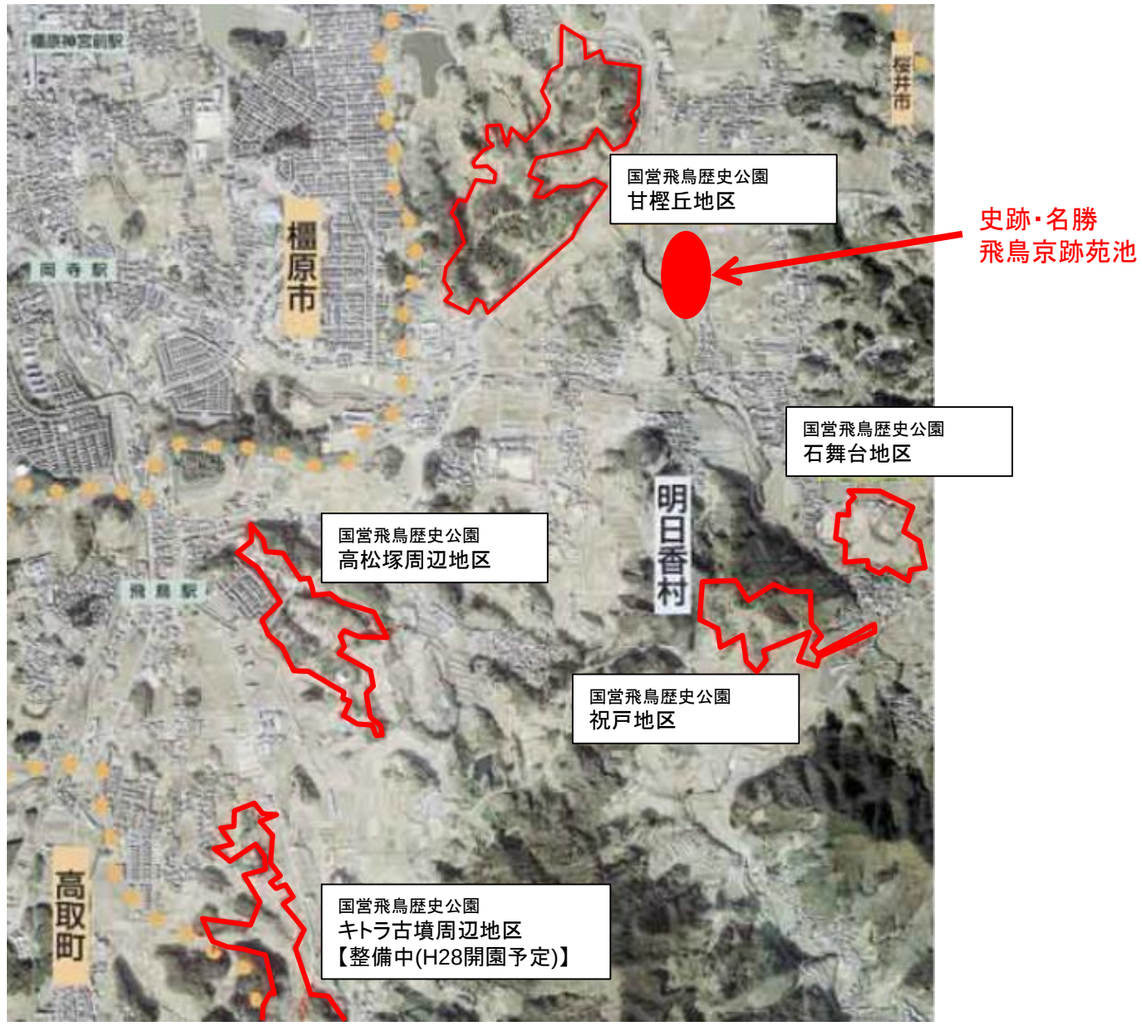
【出展】史跡及び名勝飛鳥京跡苑池　保存整備基本構想（平成23年12月）

■飛鳥京跡苑池のイメージ

【出展】飛鳥京跡第140次調査　現地説明会資料（1999年6月）

■南池の発掘調査

■飛鳥京跡苑池の周辺状況



【出展】国営飛鳥歴史公園整備プログラム　平成20年～24年度までの整備及び管理運営方針（平成21年4月）